

五十猛だより VOL.11

早いもので今年も残すところ2ヶ月余りとおりました。皆様にとって2007年はどんな1年でしたか？
 今年1年間「五十猛だより」をお読みいただき誠にありがとうございました。皆様からいただいた「いつも楽しく
 見ていますよ」というお声を励みに来年も楽しく話題満載の五十猛だよりを作りたいと思っています。
 ご意見、ご感想がございましたらぜひお便り下さいね。そして来年も五十猛だよりをどうぞよろしくお願ひします。
 さあ!! 2007年の最後を飾る五十猛だより、どうぞ最後までお楽しみください =3

ふるさと風景 9 石見金山を訪ねる 大久保間歩 (おおくほまほ)

前回こちらで紹介した龍源寺間歩は石見公開されている唯一の間歩とお話ししましたが、来春金山最大の久保間歩が
 公開されます。公開の前に五十猛だよりスタッフの若い銀子と中年ふぐ子で大田市主催の貝学会(に)行、たのびと足あ先に
 体験レポート風にお伝えします。

貝学会は9月最後の日曜。参加条件は大田市民であること。くじにより選ばれた総勢27名が参加しました。貝事当選
 した2人は観光気分で行きました。このノリが後に大変なことになり...

大久保間歩は金山の町並みから少し外れた山の山の中腹にあります。全体がまだ明らかになっていない金山
 山なので市民の間でも情報が少ない貴重な遺跡です。急な斜面を登り、途中ハット・懐中電灯・長靴というステキ
 な格好で岩だらけの道を慎重に登ります。(特別装備が必要なあかげで2人はハテ気味)すると少し広くなった所の奥に
 ポッカリと入口が...。大久保間歩の入口です。入口に着くと中から冷たい風が吹き涼しい事が伺えます。(温度計は
 15℃を指していました)中は真暗で登山での汗が冷えて寒い。あまりの暗さに人が居たとは思えない程のノミの跡
 で覆い尽くされた壁や天井が迫ってくるような大迫力です。足元は岩の内側からわき出た水で水浸しで、地面には掘
 った銀モトに出る為に使っていたトロッコ用の枕木が今もなお残っています。いつもは表面しか見えない山を内側から
 見るという貴重な体験をした2人は改めて金山の価値を再認識し、感動に包まれました。

ちなみに貝学会は間歩で終わらず更に険しい奥へ入り頂上付近の間歩まで登山が続きました。日頃の運動不足
 がたたりバテバテの2人。貝学会も2人にとっては試練修行のよう。27名いたはずの参加者も最後は7名に...。
 景色を見る余裕も話をする元気もない2人に一緒に参加したご夫婦の温かい励ましの言葉とアメリをいただき元気を
 取り戻した2人は無事に下山しました。皆さん来春公開される大久保間歩はぜひ見てください。アメリとお茶を付参され
 ることもおススメします。そしてお帰りにはお田珍味へお越し下さい。無料でお茶をご用意しております。
 豪快で美しい五十猛の海が鑑賞できる展望スペースでお待ちしております。

スタッフ紹介



津賀のぞみ
販売

しっかり者!!
笑顔で
元氣張るぞ!!



泉あずさ
販売

ちょっぴり
のんびりさん
若くてうらや
ましいなあ→

Q 仕事で心掛けている事
A. 常に笑顔で接客する事です
Q これからの目標は、
A. ミスをできるだけ少なくする

Q 仕事で心掛けている事
A. 笑顔で心掛けています
Q これからの目標は、
A. 早く一人前になる事です

2月9日はふくの日です

2月9日は「2.9」にちなんで「ふくの日」として、ふぐは、ふくとも呼ばれ「福に通じる縁起の良い魚」と言われています。来店されたお客様にふぐ鍋汁のおもてなしをしています。社員も年に1度のこの日を楽しみにしています。2月9日は「ふく=福」を食べに是非和田珍味にご来店下さい。

